

オープニングパフォーマンス 13:00~13:15

2018年8月九州吹奏楽コンクール小学生の部宮崎県代表 宮崎県都城市立高城小学校吹奏楽部のみなさんによるオリジナル曲『レフルール ドゥ ルミエール 光の華たち』の演奏から家族の日フォーラムがスタートしました。宮崎県シンボルキャラクターみやざき犬のむっちゃんも参加し、元気いっぱいのダンスを披露しました！



主催者挨拶① 13:15～13:20

主催者挨拶として、内閣府子ども・子育て本部統括官 小野田 壮より、「少子化、そして人口減少は、国難とも呼ぶべきわが国の大きな課題です。真正面から立ち向かい解決を図るため、安倍内閣としまして希望出生率1.8の実現に向け、幼児教育、保育の無償化や子育て安心プランの前倒しを実施します。

内閣府では、宮腰大臣の下、多様な家庭や家族の形態があることを踏まえつつ、子育てを支える家族と地域の大切さを国民一人一人に理解していただくことを目的に、毎年11月の第3日曜日を家族の日としました。この日を挟んだ前後各1週間を家族の週間と定め、本フォーラムをはじめとさまざまな広報活動を展開しています。宮崎県では、河野知事の強いリーダーシップの下、子育てに関する県民運動の実施や、結婚サポートなどの少子化対策に積極的に取り組まれています。宮崎市で共催できることは大変意義深いこと。子育てを支える家族と地域の大切さにあらためて気付くきっかけとなり、温かな社会につながっていくことを願っています。」との挨拶がありました。



【内閣府子ども・子育て本部統括官 小野田 壮】

主催者挨拶② 13:20～13:25

続いて、河野 俊嗣宮崎県知事より、「毎年4月30日が国際ジャズデイというのはご存じですか。ピアニストの山下洋輔さんをお招きして、小学生や中学生と一緒にジャズ演奏をします。オープニングの高城小学校も参加していて、プロと一緒にステージに立って練習することによって、子どもが成長していく姿を見るのは、われわれもぞくぞくします。家族、子育てがテーマですが、音楽を通じてそういう子育てというものがあるのだなというのを感じたところです。

さて、11月の第3日曜日は家族の日。県民にとっては毎月第3日曜日が家庭の日。それが重なった日です。あした11月19日も大事な日。私も含めた14県の若手知事の同盟で、子育てを含めた将来世代を応援していこうと語呂合わせで、11月19日をいい育児の日にしようと記念日登録しました。14県で一緒になって、「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」への参加も始めました。こういった会場でも、「泣いていいのよ」というステッカーを作って、お母さん、お父さんをサポートしていこう、そんなことしてます。宮崎バージョンは「泣いてもいっちゃが！」です。

また、未来みやざき県民運動として、子育て、または子育て家庭を支援していこうと取り組みを進めています。この11月は子育て応援月間として県としても取り組んでいこうと思います。」と挨拶されました。



【宮崎県知事 河野 俊嗣】